

平成26年度職業能力開発基盤整備専門部会評価結果報告

平成27年1月27日（火）基盤整備センター会議室において、4名の委員のもと、平成26年度職業能力開発基盤整備専門部会が開催され、以下の評価結果が得られた。

1 過年度の調査・研究・開発テーマについて

(1) 評価対象テーマ数：16テーマ

(2) 委員ごとに担当テーマを決め、評価を受ける。

(3) 評価結果

| | | |
|---|---------------------|-----|
| イ | A評価（十分な成果が得られている。） | 13件 |
| ロ | B評価（おおむね成果が得られている。） | 3件 |
| ハ | C評価（成果は不十分である。） | なし |

(4) 評価結果に係る意見等は特になかった。

2 当年度の調査・研究・開発テーマについて

(1) 評価対象テーマ数：16テーマ

(2) 委員ごとに担当テーマを決め、評価を受ける。

(3) 評価結果

| | | |
|---|------------------------|-----|
| イ | A評価（当初の目的を達成している。） | 13件 |
| ロ | B評価（当初の目的をおおむね達成している。） | 3件 |
| ハ | C評価（当初の目的を達成していない。） | なし |

3 次年度の調査・研究・開発テーマについて

(1) 評価対象テーマ数：4テーマ

(2) 委員全員に全テーマについての評価を受ける。

(3) 評価結果

| | | |
|---|----------------------|-----|
| イ | A評価（妥当な内容である。） | 14件 |
| ロ | B評価（内容の見直しが必要である。） | 2件 |
| ハ | C評価（取組むには不適切なものがある。） | なし |

4 調査・研究・開発テーマへの反映等

過年度及び当年度の調査・研究・開発テーマ（16テーマ）については、A評価が13件得られたことから、一部のテーマを除き、十分な成果や当初の目的を達成したものと思われる。

次年度の調査・研究・開発テーマ（4テーマ）については、A評価が14件得ら

れたことから、次年度新たに取り組むテーマとして、妥当な内容と思われる。しかしながら、一部のテーマについては、委員の意見等をいただいております、次年度テーマの決定に当たって、調査・研究・開発テーマの内容や運営などに反映していきたい。

また、基盤整備センターの事業全般については、委員から貴重な意見をいただいております、今後の事業運営に反映していきたい。

(参考) 職業能力開発基盤整備専門部会委員(4名)

石田 さとし (全国中小企業団体中央会労働政策部副部長)

中川原 勝弘 (東京都立多摩職業能力開発センター八王子校校長)

宮 本 信 (ものづくり産業労働組合 JAM総合政策部門産業・業種グループグループ長)

山岸 健太郎 (日野自動車株式会社 日野工業高等学園学園長)

(敬称略 五十音順)